

令和6年度人間総合科学学術院人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期課程)

専門科目試験問題

自分が「志望した分野」におけるA群、B群の中からいずれか1つの群を選び、その問いにある2つの課題について、それぞれ解答しなさい。

(分野の名称)

[スポーツプロモーション分野]

- A群 スポーツプロモーション領域
- B群 スポーツマネジメント領域

[ヘルスプロモーション分野]

- A群 ヘルスプロモーション領域
- B群 ストレスマネジメント領域

- 注1) 「志望した分野」とは、出願書類に自分が志望して記入した分野名を指します。分野内においては、A群、B群どちらを選択しても構いません。
- 注2) 解答は、問いのそれぞれの1課題に対して答案用紙1枚を用いて答えること。なお、裏面への記入および1課題に対して2枚以上の使用は認められません。
- 注3) 各答案用紙には、志望学術院名、学位プログラム名、受験番号を指定欄に記入するとともに、最初の行に領域名及び課題番号を必ず明記してください。
- 注4) 試験終了後、問題用紙、答案用紙、下書き用紙のすべてを回収します。

[スポーツプロモーション分野]

A群（スポーツプロモーション領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1）

スポーツ組織による IT 技術の活用についてプロモーションの観点から論じなさい。

課題（2）

企業・団体が期待するスポーツの価値を2つあげ、それぞれ具体的に論じなさい。

B群（スポーツマネジメント領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1）

ジュニア期の発育・発達段階に応じた最適なトレーニングのために考慮すべき点を2つあげ、それぞれ具体的に論じなさい。

課題（2）

トップアスリートの活躍が社会にもたらす効果を2つあげ、それぞれ具体的に論じなさい。

[ヘルスプロモーション分野]

A群（ヘルスプロモーション領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1）

健康維持・増進を目的として運動を継続するために必要なヘルスリテラシーの項目を2つあげ、それらが必要な理由を論じなさい。

課題（2）

生活習慣病予防・改善に有効な健康行動を1つあげ、行動変容に向けた支援方法の例を2つ具体的に論じなさい。

B群（ストレスマネジメント領域）

問い：次の2つの課題のそれぞれについて解答しなさい。

課題（1）

高齢者はうつ状態の頻度が高いことが報告されている。その理由を身体面・心理面・環境面のそれぞれの側面から論じなさい。

課題（2）

「建造環境」や「社会環境」が良好な地域に暮らしていると、メンタルヘル스에好影響がもたらされることが報告されている。その具体例を1つずつあげ、それぞれについて考えられる機序を論じなさい。